

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
【発行日】平成 17 年 4 月 7 日 (2005.4.7)

【公表番号】特表 2002-514951(P2002-514951A)  
【公表日】平成 14 年 5 月 21 日 (2002.5.21)  
【出願番号】特願平 10-511433  
【国際特許分類第 7 版】  
B 2 6 B 21/44  
【F I】  
B 2 6 B 21/44 Z

【手続補正書】  
【提出日】平成 16 年 8 月 12 日 (2004.8.12)  
【手続補正 1】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】補正の内容のとおり  
【補正方法】変更  
【補正の内容】

## 手 続 補 正 書

平成16年 8月12日

特許庁長官 小川 洋 殿

## 1 事 件 の 表 示

平成10年 特許願 第511433号

## 2 補正をする者

名 称 コーニンクレッカ フィリップス エレクトロニクス エヌ  
ヴィ

## 3 代 理 人

住 所 東京都千代田区霞が関3丁目2番4号

霞山ビルディング7階 電話(3581)2241 番(代表)

氏 名 (7205) 弁理士 杉 村 興 作



- 4 補正対象書類名 請求の範囲  
5 補正対象項目名 請求の範囲  
6 補正の内容 別紙のとおり



## 請 求 の 範 囲

1. 個人用ボデイケアシステムに関し、  
ある種の流体を収納するホルダーと、  
その流体を送りだすポンプと、  
その流体の作用により、ボデイケアトリートメントを送りだすようにしたトリートメント器具からなるボデイケア器具において、  
ホルダーは柔軟性のある壁部を有し、  
ポンプはホルダーから着脱自在であるとともに、器具からも着脱自在であることを特徴とする個人用ボデイケアシステム。
2. ポンプは流体を吸い込むための吸引チューブを備え、  
ホルダーは、筒状の出口通路を有するカップリング部材を備え、  
ポンプとホルダーとは、吸引チューブを出口通路に挿入することによって結合されるようにしたことを特徴とする、  
請求項1に記載のシステム。
3. 器具はポンプとホルダーとを収納する空間を有し、  
空間は、ホルダーのカップリング部材を位置決めするための位置決め手段を備え、  
ポンプはホルダーのカップリング部材によって空間内に留められるようにしたことを特徴とする、  
請求項2に記載のシステム。
4. ホルダーの柔軟性のある壁部は6乃至12マイクロメートル厚さのアルミニウム層よりなることを特徴とする、請求項1に記載のシステム。
5. トリートメント器具はひげ剃りに適用されることを特徴とする、請求項1に記載のシステム。
6. トリートメント器具は定置刃を備えることを特徴とする、請求項5に記載のシステム。
7. トリートメント器具は、ひげ剃り用回転刃とそれを駆動するための駆動機構とを備えることを特徴とする、請求項5に記載のシステム。

8. トリートメント器具は脱毛に用いられることを特徴とする、請求項1に記載のシステム。

9. トリートメント器具は人体のマッサージに用いられることを特徴とする、請求項1に記載のシステム。

10. 個人用ボディケアのための器具は、流体によってボディケア処理を行うものであって、その装置はホルダーと、その液体をホルダーから装置の外側開口までくみ出すポンプとを収納する空間をそなえるようにしたものにおいて、

装置はその装置本体の第1位置から第2位置に移行可能な、硬い壁面部材を備え、

その第1位置では前記空間は、ホルダーとポンプとを着脱自在にすることが出来る、

その第2位置ではホルダーとポンプは空間内に留めて置かれるようにしたことを特徴とする、個人用ボディケア器具。

11. 壁面部材はホルダーを位置決めするための位置決め手段を有することを特徴とする、請求項10に記載の器具。

12. 壁面部材は内側に凹面を有していることを特徴とする、請求項10に記載の器具。